

トピックス **ぶらす**

1/23

登米市農業について意見を交換

市長との懇談を通して市の農業経営の健全な発展と地域農業の振興を目的に、市認定農業者連絡協議会の新春懇談会が1月23日、ホテルニューグランヴィアで開催されました。懇談会には市内の認定農業者や市の関係者などが参加し「これからの登米市農業について」と題した市長による講話のほか、農業に関する活発な意見交換が行われました。



▲認定農業者の皆さんが今後の農業について意見交換

1/24

修復に向け旅立つお不動様をお見送り

東日本大震災などにより傷みが進んだ津山町の横山不動尊の木造不動明王座像が1月24日、修復先である京都府に輸送されました。横山不動尊は、カツラ材の寄せ木造りで高さは約3メートル。1997年には国の重要文化財に指定されています。御見送式には檀家や地域住民、横山小の児童などが参加し、お不動様の出発を見送りました。



▲檀家や住民も参加してお不動様をお見送りしました

1/29

復興祈願の和太鼓が響く

県太鼓連絡協議会登米連に所属する市内創作和太鼓8団体を中心となり「第9回和太鼓フェスティバル」が1月29日、登米祝祭劇場で開催されました。大会では「復興祈願、共に心で打とう」をテーマに、津波被害に遭った沿岸部の太鼓保存会5団体を招いたほか、フィナーレでは合同演奏を披露するなど、復興を祈る太鼓の音色が響き渡りました。



▲大嶽山観音太鼓の皆さんの演奏で演目がスタート

2/5

復興・友好・再構をテーマに

青年活動の活性化を目的に第7回登米市青年文化祭が2月5日、津山公民館を会場に行われました。当日は南三陸町の大森創作太鼓旭ヶ浦の皆さんによる復興祈願の太鼓で文化祭がスタート。その後、市内の青年会による郷土芸能などの発表が行われたほか、大会企画として青年会員による餅つきが行われ、つきたての餅が来場者へ振舞われました。



▲青年会員による餅つきは、子どもたちにも大人気

スキーを通して楽しく交流

豊里でそり遊び・スキー・スノーボード教室

各種スポーツ少年団員や豊里町ときめきキッズクラブ員の交流を深めることを目的に2月11日「そり遊び・スキー・スノーボード教室」が大崎市のオニコウベスキー場で開催され、スポーツ少年団豊里支部の団員と保護者、豊里町ときめきキッズクラブの会員、豊里町ジュニア・リーダー・サークル「赤い鳥」の会員など、総勢35人が参加しました。参加者は各種目ごとに班編成をした後、インストラクターから一人一人丁寧に指導を受け、ゲレンデは子どもたちの笑顔であふれていました。



▲絶好のゲレンデコンディションの中、スキーを楽しむ子どもたち

加工技術の向上を目指して

中田で農産加工作品展示会

中田町農産加工作品展示会が2月2日、中田農村環境改善センターで開催されました。この作品展は農産物の有効利用や加工技術の向上などを目的に毎年開催され、今年度は「漬物」「梅干」「みそ」「ジャム」「アイディア」の5部門に、創意工夫が凝らされた130作品が出品されました。参加者はそれぞれの作品を試食しながら、レシピのメモを取ったり、出品者に作り方のポイントを聞いたりしながら、加工技術の向上を目指して会員相互に学び合いました。



▲身近な食材を使用した素晴らしい作品が数多く出展された展示会

心の中の鬼をやっつけろ！

登米保育所で豆まき会

登米保育所で2月3日、豆まき会が開催されました。豆まき会では、紙芝居で節分の由来を聞いたり、みんなで歌を歌ったりしたほか、空箱や色画用紙を利用して作った鬼の面や、しましまパンツ柄の豆入れなどを身に付けた可愛らしいでたちの子どもたちが、元気いっぱい「鬼は外、福は内」と掛け声をかけながら、心の中にある「いじわる鬼」や「泣き虫鬼」、「好き嫌い鬼」を退治しました。豆をまいて心の中の鬼を退治した後は、みんなでおいしく豆を食べました。



▲「鬼は外、福は内」の掛け声とともに、みんなで楽しみながら鬼退治